

## 挨拶の意味

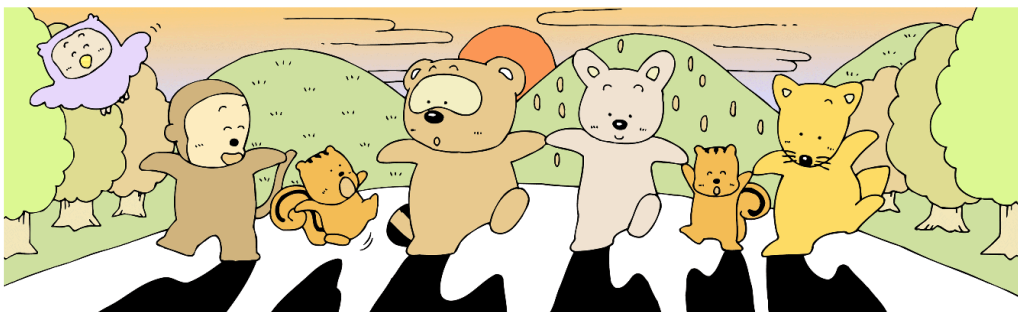
「あいさつ」は漢字で「挨拶」と書きますが、一体どのような意味があるのでしょうか。調べたところ、語源は、仏教の禅宗で使用されていた「一挨一拶(いちあいいつさつ)」だそうです。「挨」の字には「押し開く、互いに近づく」という意味があり、「拶」は「迫る、すり寄る」という意味があります。つまり、挨拶は「押して近づく」という意味の熟語だということになります。はじめ、禅宗のお坊さんたちの間で、お互い問答を繰り返すことを表す熟語として用いられるようになりました。そこからさらに転じて、現在の意味「人間同士が出会ったときに交わす受け答え」になったのです。

また、挨拶を読み下し文にすると、「挨く(たたく)」と「拶く(ひらく)」となります。このことから、挨拶とは相手の心のドアをたたき、「こんにちは」「おはよう」と相手のドアを開くことだと言えます。

ここで大切なのは、自ら相手の懐へ飛び込むということです。自分から心を開き、相手の心を開かせ、相手の心に近づくこと。これが挨拶であり、先にされて返すのは、挨拶ではなく返事だと考える人もいます。

挨拶を全くしない人、形としての挨拶はする人、相手へ思いやりの心をのせて挨拶をする人。その差はわずかに感じますが、一日一日を積み重ねていけば大きな差が生まれます。馬込小学校のこどもたちの中で、自分から挨拶ができている人はどのくらいいるでしょうか。自分から思いを込めて挨拶することを、こどもとともに、大人も心掛けていきたいですね。

(文責:藤本 奈桜)



## 1年生の道徳科の時間

この日の授業では、つい挨拶を忘れる「ぼく」の姿などを通して、きちんと挨拶することの大切さについて考えました。

**主題名**:あいさつをきちんと **教材名**:「わすれていること、なあい」

**内容項目**:「礼儀」

**あらすじ**:「ぼく」は、休み時間に転んで保健の先生に手当をしてもらった後や、友達をトラブルになったときに黙っていると、忘れていないかと先生からきかれました。忘れていたことが挨拶だと気付いた「ぼく」は、その場できちんと挨拶することができました。

### 教師の問い

「ぼく」もひろくんも、にっこりしたとき、「ぼく」はどんなきもちだったでしょう。

### こどもたちの考え

- ・あやまってしっかりとかなおりにできてよかった。
- ・いらいらしていた気もちがすっきりしたな。

授業の後半では、主題名である「あいさつ きちんと」について、あらためてこどもたちの考えを聞き、ふり返りをしました。

### 教師の問い

きちんとあいさつすることは、どうしてたいせつなのでしょう。

### こどもたちの考え

- ・あいさつすると、気もちがいい。
- ・すっきりした気もちで生かすことができる。
- ・あいさつしてもらうと、うれしくなる。